

## 平成26年度（第55期） 総会資料

平成26年8月30日（土）  
於： 札幌市立大学（札幌市）

### 第55期支部総会開催にあたって

支部長 吉村 斎（苫小牧高専）

会員の皆様には、ご多忙の中、第55期支部総会にご出席いただき深く御礼申し上げます。また学会副会長の諸貫先生には、遠路ご参加頂き感謝申し上げます。

さて、支部活動の主役は、教育機関会員・学生会員・企業会員の三者です。学術講演会が、教育機関と学生との研究交流の場だけでなく、企業と学生、企業と教育機関、また学生会員相互が交流できる場となり、正会員のみならず学生にも企業会員の方々にも精密工学会入会の恩恵が感じられる支部活動を進めるべく、全発表のポスタセッション化、および賛助会員企業紹介のためのランチョンセミナーを、前年度に引き続き今年度も実施いたしました。札幌市立大学の実行委員会の皆様方には、本学術講演会の趣旨をご理解いただき、完璧な準備と運営をいただき感謝しております。また講演会以外の活動としては、支部学術講演会論文集のデジタル・アーカイブ化を推進しており、その端緒として今年度分のWeb掲載に向けた準備を着々と進めております。また、2018年秋季全国大会の開催候補地に関する情報収集も引き続き実施していく予定です。

これらの企画・活動については、今後も皆様のご意見を取り入れ、より良いものに改善してゆく必要があります。本総会は、当支部活動の中心メンバである皆様にご参集いただける、年に一度の貴重な場となりますので、どうかご意見・ご助言・ご提案を積極的に頂けると幸いです。

#### 資料内容

1. 支部会員数	.....	2
2. 支部役職	.....	2
支部幹事会／支部商議員会／支部選出委員		
3. 支部会計報告	.....	3
第54期収支決算概要／第55期収支予算概要		
4. 支部活動報告	.....	5
第54期・55期会議、講演会、表彰事業、その他		
5. 参考資料	.....	9
全国大会記録／支部講演会記録／歴代支部長		
6. その他		
・支部講演論文集のデジタル・アーカイブ化 に伴う著作権の取扱いについて	.....	11
・2018年秋季全国大会開催地の調査活動	.....	12

第 54 期後期（2013/9-2014/1）／第 55 期前期（2014/2-2014/8）活動報告

1. 支部会員数

会員数：144 名（正会員：104 名，学生会員：40 名）＊フェロー，名誉会員を含む

	2011/3	2013/4	2014/1	2014/4	2014/7
総会員数	147	145	167	139	144
正会員*	106	107	109	103	104
学生会員(web)	41(33)	38(31)	58(49)	36(31)	40(34)

支部所属名誉会員（7 名） 五十嵐 悟，池田 正幸，菊地 千之，北川 武揚，齋藤 勝政，  
勇田 敏夫，棟 徹夫（敬称略）

支部所属フェロー（3 名） 嘉数 侑昇，岸浪 建史，田牧 純一（敬称略）

補足説明：2014/7 と 2013/8 とを比較すると 21 人減(正会員-4，学生会員-17)

2. 支部役職

2.1 支部幹事会

	第 54 期（2013/2-2014/1）	第 55 期（2014 /2-2015/1）
支部長	金井 理（北大） （学生奨励賞審査委員長）	吉村 斎（苫小牧高専）
副支部長	吉村 斎（苫小牧高専） （技術賞・支部活性化貢献賞 審査委員長）	菊地 慶仁（北海学園大学） （技術賞・支部活性化貢献賞 審査委員長）
庶務幹事	伊達 宏昭（北大）	三谷篤史（札幌市立大学）
会計幹事	三谷 篤史（札幌市立大）	川上 敬（北海道科学大学） （情報化推進・Web 副担当）
幹事	久保 明彦（北見工大） （支部講演会担当）	伊達宏昭（北海道大学） （情報化推進・Web 担当）
幹事	戸村 豊明（旭川高専） （支部 Web 管理，CADCG コンテスト審査委員長）	見藤 歩（苫小牧高専） （CAD/CG コンテスト審査委員長）
幹事	山田 誠（函館高専） （BP 賞審査委員長）	鈴木 育男（北見工大） （BP 賞審査委員長）
監事	小野里 雅彦（北大）	金井 理（北大）
監事	金子 俊一（北大）	古川 正志（北海道情報大学）

補足説明：第 54 期より，支部長・副支部長，庶務・会計以外の各幹事の業務担当を明確化した。

## 2.2 商議員会

氏名	所属	第54期	第55期
青柳 学	室蘭工業大学	○	
石田 崇	株式会社テクノフェイス		○
奥野 拓	公立はこだて未来大学	○	○
小野里 雅彦	北海道大学	○	○
金井 理	北海道大学	○	○
小田 尚樹	千歳科学技術大学		○
金子 俊一	北海道大学	○	
川上 敬	北海道工業大学	○	○
菊地 慶仁	北海学園大学		○
久保 明彦	北見工業大学	○	○
後藤 孝行	旭川工業高等専門学校	○	○
鈴木 育男	北見工業大学		○
高氏 秀則	北海学園大学		○
高佐 成樹	株式会社日本製鋼所室蘭製作所	○	○
多田 達実	北海道立総合研究機構	○	○
伊達 宏昭	北海道大学	○	○
戸村 豊明	旭川工業高等専門学校	○	
福田 薫	株式会社産鋼スチール	○	
古川 正志	北海道情報大学		○
本田 匠	釧路工業高等専門学校	○	○
三谷 篤史	札幌市立大学	○	○
見藤 歩	苫小牧工業高等専門学校	○	○
安田 星季	北海道立総合研究機構	○	
山田 誠	函館工業高等専門学校	○	○
吉村 斎	苫小牧工業高等専門学校	○	○
渡辺美知子	北見工業大学	○	
		20名	20名

## 2.3 支部選出委員

理事（1名）：	古川 正志（北海道情報大学）	2014年度
代議員（3名）：	田中 文基（北海道大学）	2014年度
	多田 達実（北海道立総合研究機構）	2014年度
	渡辺美知子（北見工大）	2014年度
広報委員	山本 雅人（北海道大学）	2013.4-2015.3（任期2年）
校閲委員会委員	伊達 宏昭（北海道大学）	2012.4-2015.3（任期3年）

### 3. 支部会計報告

#### 3.1 2013年度（第54期 2013/2-2014/1）収支決算（概要）

収 入		支 出	
支部活動費（本部より）	611,000	学術講演会事業支出	834,651
学術講演会事業収入	724,500	学生派遣事業費	200,000
補助金等収入	100,000	旅費・交通費	168,520
雑収入	8,359	共催・協賛等事業費	197,274
		その他支出	122,881
		本部一般会計に預け入れ	300,000
当期収入合計(A)	1,443,859	当期支出合計(C)	1,823,326
前期繰越収支差額	1,685,589	当期収支差額(A-C)	▲379,467
収入合計	3,129,448	次期繰越収支差額	1,306,122

その他、本部会計預け入れ金の総額が2014/1/31現在で2,000,000円

#### 3.2 2014年度（第55期 2014/2-2015/1）収支予算（概要）

収 入		支 出	
支部活動費（本部より）	610,000	学術講演会事業支出	940,000
学術講演会事業収入	800,000	学生派遣事業費	300,000
		旅費・交通費	200,000
雑収入	1,000	共催・協賛等事業費	169,097
		その他支出	250,525
		本部一般会計に預け入れ	300,000
当期収入合計(A)	1,411,000	当期支出合計(C)	2,159,622
前期繰越収支差額	1,306,122	当期収支差額(A-C)	▲748,622
収入合計	2,717,122	次期繰越収支差額	557,500

補足説明：学会提出の予算書においては「学術講演会事業支出」という区分で明示的に予算計上されておらず、ここでは学術講演会での支出と想定されるものを合計して計上している。また会計上、剰余金（繰越金）の圧縮が求められているため、単年度では約75万円の赤字の収支計画が策定されている。

## 4. 支部活動報告

### 4.1 第54期(2013/2-2014/1)支部活動報告

#### 会議

- 年次総会：2013年8月31日(北見工業大学) 事業報告・事業計画
- 商議員会(3回)
  1. 2013年2月22日(北海道大学) 役員選出, 事業計画の承認
  2. 2013年8月31日(北見工業大学) ポスター講演にかかるBP賞の申し合わせ, 各賞の審議・決定
  3. 2013年11月29日(札幌市立大学) 第55期事業計画等
- 幹事会(3回)
  1. 2013年6月1日(北見工業大学) 支部講演会準備
  2. 2013年8月1日(Skype会議) 支部講演会打ち合わせ
  3. 2013年10月23日(Skype会議) 次年度事業計画, 商議員会選挙の準備

#### 講演会・シンポジウム等

- 2013年度支部学術講演会：2013年8月31日(北見工業大学)  
講演件数：63件, CAD/CGモデリングコンテスト：9件  
特別講演会：『ダイヤモンド状炭素膜の基礎と応用および精密工学会の国際連携活動』  
(大竹 尚登 氏(東京工業大学教授, 精密工学会理事))  
懇親会：オホーツクビール(北見市)  
工場見学会：8月30日, JAきたみらい 青果物センター, 参加者16名
- 共催・協賛事業(9件)  
講演会2件
  1. 共催：七夕 高也 / 情報技術を用いた植物科学研究のためのハイスループット形質評価技術, 北海道大学, 6月28日, 15名
  2. 協賛：鈴木 裕 / 金型加工技術の現状, 北海道大学, 7月26日, 30名事業7件
  1. 協賛, 第12回複雑系マイクロシンポジウム, 北海道大学, 3月2日, 48名
  2. 協賛：第45回計測自動制御学会北海道支部学術講演会, 北海道大学, 3月6-7日, 60名
  3. 協賛：大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術集中講演会兼精密工学会北海道支部技術講演会, 北海道大学, 7月29-30日, 76名
  4. 協賛：北海道ロボット教育推進協議会 ロボット競技会(WRO札幌大会), 北海道大学, 8月17日, 127名
  5. 協賛：第13回ロボット・トライアスロン札幌大会, 北海道工業大学, 9月29日, 122名
  6. 協賛：第16回サイバー・フィールド研究会セミナー, 札幌エルプラザ, 10月11日, 45名
  7. 後援：2013ものづくり技術セミナー, 京王プラザホテル札幌, 11月20日, 104名

## 表彰事業

- 優秀プレゼンテーション賞 (6名)

1. 山本 椋太 (苫小牧工業高等専門学校)
2. 家登 亮多 (北海道大学)
3. 藤井 勇人 (東京電機大学)
4. 新井 敦之 (北見工業大学)
5. 松山 雄介 (北海道大学)
6. 石垣 遼悟 (旭川工業高等専門学校)

- CAD/CG モデリングコンテスト表彰 (4件)

最優秀賞:

1. 小松 凌 (旭川工業高等専門学校) (リアリティ部門)

優秀賞:

2. 菅 結実花 (旭川工業高等専門学校) (リアリティ部門)
3. 平岡 紘一 (旭川工業高等専門学校) (メカニカル部門)
4. 簾 静流 (苫小牧工業高等専門学校) (メカニカル部門)

技術賞 (5件)

1. 松本英二 (シンセメック株) 『カボチャ乱切り装置および下処理装置の開発』
2. 田中雄太, 松塚 悟, 丸田健司 (株)タナカコンサルタント 『レーザセンサ, GNSS, IMU などの融合による移動体計測装置の開発』
3. 青野文朗, 高佐成樹, 須藤英一, 宿村孝博, 今村祐輔 (株)日本製鋼所 室蘭製作所 『ニッケル基合金の大型製品加工に関する研究』
4. 石井誠士 (石井鉄工所), 菊地幸雄 (菊地電気工房), 柏哲治 (旭川高専) 『コンピュータ制御自動積み込み大根収穫機の開発』
5. 多田達実, 大村功, 鈴木慎一 (道立総合研究機構), 田中孝之, 金子俊一 (北海道大学) 『ぶどう園向け除草ロボットの開発』

- 支部活性化貢献賞 (2件)

1. 早川 保 氏 (日鋼商事株) 代表取締役社長, 前 (株)日本製鋼所室蘭製作所 所長)
2. 深谷 健一 氏 (北海学園大学工学部 電子情報工学科 教授)

- 北海道支部学生奨励賞

道内で正会員2名以上在籍の学科等から学業優秀学生を表彰。会員資格は問わない。

1. 平原 壮紀, 公立はこだて未来大学 大学院システム情報科学研究科システム情報科学専攻
2. 鈴木 貴也, 苫小牧工業高等専門学校専攻科電子・生産システム工学専攻
3. 原田 貴也, 釧路工業高等専門学校電気工学科
4. 中易 竜一, 室蘭工業大学大学院工学研究科情報電子工学系専攻
5. 丹羽 孔明, 北海道工業大学大学院工学研究科電気工学専攻
6. 石山 吉紀, 室蘭工業大学工学部機械航空創造系学科
7. 友田 一平, 北見工業大学大学院工学研究科 情報システム工学専攻
8. 近藤 光, 札幌市立大学デザイン学部デザイン学科 製品デザインコース

9. 成瀬 幸史, 北見工業大学工学部機械工学科
10. 谷島 諒丞, 旭川工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻
11. 健名 裕希, 北海学園大学工学部電子情報工学科
12. 矢作 修一, 北海道大学大学院工学院人間機械システムデザイン専攻
13. 星 昂佑, 函館工業高等専門学校機械工学科
14. 高松 宏樹, 北海道大学工学部情報エレクトロニクス学科情報工学コース
15. 伊藤 泰久, 北海道大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻

• その他

春季大会への学生派遣支援事業 (4名, 2014年3月)

2013年度支部学術講演会において優秀なプレゼンテーションを行った学生のうち, 旅費支援を希望した以下の4名に春季大会参加の旅費支援を行った。

1. 山本 椋太 (苫小牧高専)
2. 家登 亮多 (北海道大学)
3. 松山 雄介 (北海道大学)
4. 荒井 航 (北海道大学)

#### 4.2 第55期 (2014/2-2015/1) 支部活動計画ならびに中間報告 会議

- 年次総会 (第55期) : 2014年8月30日 (札幌市立大学) 事業報告・事業計画, 他
- 商議員会 (3回)
  1. 2014年2月17日 (札幌市立大学) 役員選出, 事業計画の承認
  2. 2014年8月30日 (札幌市立大学) 各賞申合せ, 各賞の審議・決定
  3. 2014年11月 (予定) 第56期事業計画等
- 幹事会 (3回)
  1. 2014年5月31日 (札幌市立大学) 支部講演会準備
  2. 2014年8月5日 (Skype会議) 支部講演会準備状況確認
  3. 2014年10月 (予定) 次年度事業計画, 商議員会選挙の準備

#### 講演会・シンポジウム等

- 2014年度支部学術講演会 : 2014年8月30日 (札幌市立大学)
 

講演件数 : 51件 (昨年より▲12), CGコンテスト : 13件 (昨年より△4 )

ランチョンセミナー (企業紹介セミナー) : 3社  
(株)タナカコンサルタント, (株)ISS 北海道, (株)光合金製作所

特別講演会 :  
講師 : 諸貫 信行 氏 (首都大学東京教授, 精密工学会副会長)  
題目 : 『精密工学の今後に関する一考察』

懇親会 : 札幌市立大学クローバーホール (札幌市)

施設見学会 : シンセメック株式会社マシンセンター (2014年8月29日)

• 共催・協賛事業（開催済み5件，予定1件）

1. 事業協賛：第13回複雑系マイクロシンポジウム，苫小牧市民活動センター，3月1日，48名
2. 事業協賛：第46回計測自動制御学会北海道支部学術講演会，北海道大学，3月9-10日，70名
3. 講演会協賛：檜原 弘之／3Dプリンタの最新技術動向と将来，北海道大学，8月1日，15名
4. 事業協賛：北海道エージェントスケジューリングプロジェクト講演会，北海道情報大学サテライトキャンパス，8月6日，20名
5. 事業協賛：大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術集中講演会，北海道大学，8月7-8日，76名
6. 事業協賛（予定）：第14回ロボット・トライアスロン，札幌市青少年科学館，9月14日

表彰事業

• 学生奨励賞（15名）

1. 對馬修宇（北見工業大学工学部）
2. 河石良太郎（北見工業大学 大学院工学研究科）
3. 前濱宏樹（北海道大学 大学院情報科学研究科）
4. 利根川 凜（北海道大学 工学部）
5. 塩濱教幸（北海学園大学大学院工学研究科）
6. 橋本航平（函館工業高等専門学校）
7. 宮崎真吾（苫小牧工業高等専門学校専攻科）
8. 野村祥吾（室蘭工業大学工学部）
9. 岡崎翔大（室蘭工業大学 大学院工学研究科）
10. 栃木優太（札幌市立大学 デザイン学部）
11. 荒川祐真（公立はこだて未来大学）
12. 堀 優作（旭川工業高等専門学校 専攻科）
13. 松本泰明（北海道工業大学 大学院工学研究科）
14. 釜野幹康（釧路工業高等専門学校）
15. 大北 竜平（北海道大学大学院工学研究科）



## 5. 参考資料

### 5.1 全国大会開催記録

年度	開催地	月日	実行委員長	講演件数
1964	北海道大学	10月1日(木)-2日(金)	星光一	80
1970	ホテル万世閣(洞爺湖)	10月6日(火)-8日(木)	星光一	225
1980	北海道大学	9月28日(日)-30日(火)	佐藤 敏一	316
1990	北海道大学	9月27日(木)-30日(日)	斎藤 勝政	637
1998	北海道大学	9月22日(火)-29日(金)	五十嵐 悟	606
2007	旭川市市民ホール他	9月12日(水)-14日(金)	古川 正志	499
2018	(未定)			

### 5.2 支部講演会開催記録(2000～)

年度	開催校	月日	実行委員長	講演件数
2000	旭川高専	9月9日(土)	古川 正志	57
2001	釧路高専	9月1日(土)	荒井 誠	51
2002	札幌学院大学	8月31日(土)	皆川 雅章	41
2003	室蘭工業大学	9月6日(土)	横内 弘宇	50
2004	函館高専	9月4日(土)	浜 克己	60
2005	北見工業大学	9月3日(土)	二俣 正美	53
2006	北海学園大学	9月2日(土)	深谷 健一	46
2007	苫小牧高専	8月25日(土)	中津 正志	42
2008	旭川高専	9月6日(土)	今野 廣	55
2009	釧路高専	9月5日(土)・6日(日)	荒井 誠	44
2010	北海道工業大学	9月4日(土)	木下 正博	43
2011	公立はこだて未来大学	9月3日(土)	奥野 拓	46
2012	室蘭工業大学	9月1日(土)	寺本 孝司	52
2013	北見工業大学	8月31日(土)	田牧 純一	63
2014	札幌市立大学	8月30日(土)	城間 祥之	51
2015	千歳科学技術大学	未定	未定	

### 5.3 歴代支部長

期	西暦	支部長名	期	西暦	支部長名
1-10	1960-1969	星光一	11-16	1970-1975	佐藤 敏一
17-18	1976-1977	沖野 教郎	19-20	1978-1979	斎藤 勝政
21	1980	三浦 良一	22-23	1981-1982	菊地 千之
24-25	1983-1984	棟 徹夫	26-27	1985-1986	佐藤 寿夫
28-29	1987-1988	斎藤 勝政	30-31	1989-1990	大津 保雄

32-33	1991-1992	北川 武揚	34	1993	勇田 敏夫
35	1994	池田 正幸	36	1995	西田 公至
37	1996	嘉数 侑昇	38	1997	岸浪 建史
39	1998	野村 英雄	40	1999	五十嵐 悟
41	2000	二俣 正美	42	2001	井上 一郎
43	2002	岡田 亜紀良	44	2003	田頭 孝介
45	2004	三田村 好矩	46	2005	田牧 純一
47	2006	深谷 健一	48	2007	古川 正志
49	2008	金子 俊一	50-51	2009-2010	荒井 誠
52-53	2011-2012	小野里 雅彦	54	2013	金井 理
55	2014	吉村 斎			

6. その他 2014. 8. 30

講演論文のデジタル・アーカイブ化にともなう Web 掲載について

精密工学会 北海道支部  
第 55 期支部長 吉村 斎

平素より精密工学会北海道支部にご助力を賜り感謝いたします。

さて、精密工学会北海道支部では、学会本部ご了解のもと、今年度より支部学術講演会講演論文集のデジタル・アーカイブ化を会員サービスの一環として実施することとなりました。これにより支部 Web サイト上から、毎年の支部学術講演会の講演論文 PDF が誰でも無料で閲覧できるようになる予定です。

つきましては、先日ご提出いただきました貴殿の支部学術講演論文について、その PDF を支部 Web サイトへ掲載する許可をいただきたくご連絡いたしました。

なお、本件は精密工学会の著作権規程

[http://www.jspe.or.jp/about\\_us/policy/copyright-policy/](http://www.jspe.or.jp/about_us/policy/copyright-policy/)

の第 4 条(著作権の帰属および管理)に則り、著作権自体は著者自身に帰属しておりますが、その管理は学会が行う、という考え方に基いて行なうものです。

事情により貴殿の講演論文の Web 掲載の許可をいただけない場合やご質問、ご不明な点がありましたら、北海道支部庶務幹事 三谷<a.mitani@scu.ac.jp>までお知らせください。今回ご提出いただいた支部学術講演論文の Web 掲載をご承諾いただける場合は、特に返信をいただく必要はありません。また事情により Web 掲載を見合わせたい場合は、恐れ入りますがその旨を、講演会当日(8 月 30 日(土))までに、上記、三谷宛お知らせいただけますと幸いです。

8 月 30 日までにご返信が無い場合は、Web 掲載の許可をいただいたものと致します。

なお講演論文の Web 掲載は、2014 年 10 月 1 日を予定しております。

よろしく願いいたします。

---

精密工学会 北海道支部

庶務幹事： 三谷篤史 (札幌市立大学)

e-mail : jspe\_hokkaido@jspe.or.jp

---

## 2018年（平成30年）精密工学会学術講演会秋季大会 北海道地区での開催に向けた開催地検討状況について

### 1. 開催に向けた準備の着手

第53期（2012年）北海道支部幹事会・商議員会において、精密工学会秋季大会の輪番規則で2018年が北海道支部の担当となることが提示され、まず開催場所について検討を行った。これまで北海道での全国大会は前回2007年の旭川市での開催以前はすべてが札幌市（北海道大学他）での開催であった。全国大会を開催できる会議施設、宿泊施設、全国各地からの交通の便等を考慮し、2018年度の開催地として函館市を第一候補として検討していくこととした。

### 2. 開催地としての函館市

北海道支部として函館市を開催地に推す理由は以下の点である。

- 道南の中核都市であり、全国大会に対応できる会議施設、宿泊施設を有する。
- 国内有数の観光地であり、学会参加者の増加が期待できる。
- 様々な交通機関が利用できる。空路では函館空港は羽田、伊丹、関空、名古屋中部、三沢、奥尻、札幌（丘珠）、新千歳との間に直行便が就航しており、2016年3月には北海道新幹線開業により、鉄路でも本州と短時間で結ばれる。
- 市内には工学系の高等教育機関である函館高専と公立はこだて未来大があり、精密工学会会員で活発な活動をしている研究者が多い。
- 函館国際観光コンベンション協会による支援体制が充実していることと、函館市からの補助金支援を受けられる可能性が高い。
- これまで函館市では全国大会を開催していない。

これらの理由により、函館市を開催地の第一候補として検討を進め、開催が困難と判断される場合には札幌市などを代替地として考えることとした。

### 3. 全国大会開催に向けた調査タスクフォースの組織

上述の結果を踏まえて、第54期（2013年度）に、準備に向けた調査活動を行うタスクフォースを支部商議員から編成した。

小野里雅彦 北海道大学

山田 誠 函館工業高等専門学校

奥野 拓 公立はこだて未来大学

このタスクフォースの元に2018年秋季大会開催準備に向けた調査活動を開始した。

### 4. 過去の全国大会（秋季大会）に関する情報収集

精密工学会本部事務局の協力のもとに、2007年～2013年の7年間の秋季大会における参加者数、セッション数等の情報を収集し、特に会場設定に重要となるセッションごとの聴衆者数について分

析を行い、講演室数と各室に求められる収容人数に関する概算を行っている。(表1参照)

## 5. 会場候補施設のリストアップ

現時点では三カ所の開催候補施設をリストアップしている。

- A) 函館工業高等専門学校：支部会員が多く所属し、運営は容易。45名定員の講演室の数は多く準備可能であるが、中～大人数を収容する部屋の確保に課題。開催の日程に関しては授業の休み期間中に限られる。高専を全国大会の会場とすることはこれまでの精密工学会に例がなく、全国的に見て良い実施例となる可能性がある。
- B) 函館大学・函館短期大学：道路を隔てて向き合う2つのキャンパスを併用することで、十分な講演室数と500名収容可能な講堂がある。ただし、函館大学に所属する支部会員はいない。過去に精密工学会とほぼ同規模の学会(FIT 2011)が函館大学・函館短期大学を会場として開催された実績がある。
- C) 函館アリーナ：市中心部に2015年8月オープン予定のスポーツ&コンベンション施設である函館アリーナ(図1)と隣接する函館市民会館を併用するもの。準備できる講演室の数に余裕がないため、会場設営とプログラム編成に工夫が必要となる。使用料金は現時点では未定だが、函館市当局からは是非学会会場として利用してもらいたい旨の申し出を受けている。

学会会期や利用条件等の判断材料が揃った時点(2015年6月ころを想定)で会場施設を決定する予定。



図1 函館アリーナ完成予想図

## 6. 全国大会開催に向けた支部財政の方針決定

2018年の全国大会の開催に向けて、毎年、準備金を積み立てている。第54期(2013年度)において、2018年度までの支部会計方針が検討され、これまでの積立金を元に、残り期間で無理なく想定する準備金を積み立てる計画が了承されている。

表1 過去7年間の秋季大会におけるセッション聴講者数の集計データ

分類コード	セッション名	07年平均聴講人数	08年平均聴講人数	09年平均聴講人数	10年平均聴講人数	11年平均聴講人数	12年平均聴講人数	13年平均聴講人数
A01	形状モデリングの基礎と応用	30.54	31.25	36.64	18.06	28.44	28.30	21.25
A02	デジタルスタイルデザイン	32.90	24.55	18.71	23.60	29.25	19.67	23.90
A03	生産システムのエンジニアリング(基礎・理論)	13.50	18.33	23.31	14.00	19.38	13.00	19.25
A04	生産システムのエンジニアリング(応用・実践)	22.33	A03と合同	A03と合同	A03と合同	A03と合同	13.00	A03と合同
A05	持続可能なものづくりのためのライフサイクルエンジニアリング(旧:循環生産のためのライフサイクルエンジニアリング)	14.20	21.25	18.71	14.00	14.43	21.43	16.71
A06	設計の方法論(製品、サービス、PSS) (旧:設計とサービス工学)	17.85	17.33	14.35	21.15	16.70	31.61	24.73
A07	デジタルエンジニアリング (旧:モノづくりにおける最適化手法の活用)	11.25	(開催なし)	不成立	不成立	11.00	14.11	
A08	マイクロ生産機械システム	20.00	17.63	18.38	17.25	16.33	不成立	10.00
A09	サイバーフィールド構築技術(10秋より)				27.19	30.47	26.64	30.42
A10	GPU/並列処理技術の産業応用(13秋のみ開催)							19.67
B01	工作機械の高速高精度化	26.75	40.44	31.18	28.22	32.90	35.71	48.47
B02	高能率・高精度化のための切削工具	27.33	40.00	35.68	54.73	53.54	54.90	55.00
B03	多軸制御加工計測	27.00	25.90	21.64	18.44	24.50	33.88	31.20
B04	穴加工および穴形状精度の測定	29.29	30.29	25.38	29.33	29.86	27.57	20.50
B05	超精密マイクロ機械加工	41.44	37.63	19.57	25.00	22.33	48.00	27.73
B06	エコマシニング技術	38.20	21.13	14.00	25.60	28.50	20.83	25.00
B07	金型設計・生産技術	38.33	27.36	16.40	不成立	22.50	20.86	不成立
B08	超音波振動を採用した加工技術	22.14	34.67	22.67	40.86	39.20	30.20	19.67
B09	研削現象とその機構	20.40	11.33	不成立	不成立	27.00	38.00	不成立
B10	超砥粒ホイール応用加工技術の新展開 (旧:超砥粒ホイールとその使用技術)	(開催なし)	33.80	不成立	不成立	不成立	30.67	不成立
B11	cBN研削技術の新展開(12春よりB10と合同)	14.00	(開催なし)	16.60	不成立	13.33	B10と合同	B10と合同
B12	曲面・微細形状・機能性材料の超精密加工と計測	25.33	29.06	32.17	23.80	12.75	25.71	18.71
B13	ナノ表面研削/ELID研削	12.45	20.40	19.92	19.92	18.00	22.40	23.25
B14	切断加工	13.50	14.50	13.00	24.33	26.80	27.00	18.83
B15	砥粒加工の新展開	19.22	34.00	21.79	25.67	36.00	39.33	31.30
B16	複合研磨	19.33	12.20	11.75	13.75	28.67	20.60	22.00
B17	プラナリゼーションCMPとその応用	39.00	51.56	50.25	59.09	43.82	58.58	40.36
B18	電気エネルギー応用加工	25.82	30.71	21.62	26.83	29.17	30.69	31.71
B19	レーザ加工	27.04	28.74	25.56	21.50	27.21	34.55	34.87
B20	マイクロ・ナノ加工とその応用	29.25	25.92	21.72	21.66	31.04	20.17	23.29
B21	表面処理・機能薄膜	17.76	20.06	16.76	15.81	15.93	13.50	16.17
B22	ナノ・マイクロ加工シミュレーション	18.75	(開催なし)	不成立	13.00	不成立	不成立	不成立
B23	ナノ表面創成工学とその応用(09秋より)			19.90	21.58	25.06	33.32	27.20
B24	エンドミル加工技術	29.80	45.31		40.00	34.36	39.82	31.30
B25	高機能形状創成(10秋より開催)				13.75	14.89	19.27	31.67
C01	精密・超精密位置決め	25.53	28.60	18.70	13.38	26.14	28.30	19.53
C02	転がり機械要素(2012より春のみ開催)	15.38	16.33	14.63	18.33	18.50	(開催なし)	(開催なし)
C03	新原理アクチュエータとその応用デバイス (旧:圧電アクチュエータとその応用デバイス)	32.59	34.33	17.92	24.14	31.44	28.10	23.11
C04	マイクロ/ナノシステム	19.50	15.21	19.83	13.00	14.36	16.33	18.40
C05	MEMS商業化技術	23.57	24.50	19.10	11.67	10.50	15.71	18.45
C06	スマートエンジニアリングシステムの設計・応用	22.05	16.60	19.27	27.00	15.89	17.46	8.27
C07	ロボティクス	24.43	17.92	18.91	19.63	11.91	16.29	14.33
C08	メカトロニクス(09春より)			9.50	15.20	9.80	17.17	12.00
D01	メカノフotonics	23.53	29.42	21.69	25.61	29.72	26.74	21.17
D02	表面ナノ構造・ナノ計測	23.25	18.67	17.00	12.00	16.70	13.75	16.89
D03	知的精密計測	30.95	35.15	23.81	35.07	29.06	30.90	25.96
D04	画像応用と知能化システム	19.38	11.29	14.91	18.41	12.63	14.20	21.00
E01	医用・人間工学	18.57	14.33	16.90	13.40	17.08	15.22	10.14
F01	生産原論	19.67	23.29	18.78	27.25	23.29	11.20	12.00
G01	地方公設試験研究機関(12秋のみ開催)						11.87	
	(大会ごとの平均人数)		27.67	22.26	24.97	26.83	27.19	25.6